

<空の安全・安心を！整理解雇四要件を守れ！>

2025. 6. 9

## JAL闘争を支える京都の会News No.117

京都市東山区今熊野南日吉町 17 FAX : 075-531-3856 E-mail : [komai123@kfa.biglobe.ne.jp](mailto:komai123@kfa.biglobe.ne.jp)

# 泣き寝入りはやめて 行動に出よう！

2025年5月27日、大手筋商店街（京都市伏見区）で、JAL不当解雇撤回争議勝利をめざす宣伝行動をおこないました。「JAL闘争を支える京都の会」が呼びかけ、「きょうとユニオン」、「なかまユニオン」、「米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会」、「憲法を生かす京都の会」、「合同纖維労組」の皆さんなど、計14人にご参加いただきました。JAL客乗争議団から神瀬麻里子さんが参加されました。

神瀬さんは以下のように訴えました。「私たちはJALの不当解雇を撤回せよという運動を14年と4ヶ月続けている。JALは2010年の大晦日に165名を解雇した。日本で労働者を解雇するにはそれなりの理由が必要である。しかしJALはそのルールに則らず、解雇を強行した。ここ伏見にお住まいだった稻盛和夫さんはその当時のJALの最高経営責任者をされていたので、私たちは毎月大手筋商店街でそのことを皆さんに知っていただきたくて訴えをさせていただいている。解雇になった165名は全員が業務経験20年、30年のベテランであった。パイロット81名、客室乗務員84名は、JALが言う理由としては、高年齢と過去の病気、この2つの基準で解雇になった。しかし皆さん、働いていたら誰しも年齢は年をとっていくのではないか。そして病気もするのではないか。その2つを理由に解雇されてしまったら、誰一人安心して働くことができない。そしてこの165名は全員がJAL経営に対して安全でないものには安全でない、ダメなものにはダメと言ってきた者たちであった。JALがおこなった放漫経営についてもモノを言ってきた。放漫経営をしてJALに損害を与えた過去の経営者は誰一人責任を取らず、なぜ私たち165名が仕事を奪われなければならなかったのか。それを私は許すことができない。この運動を全国の人が14年を超えて支援してくださっている、それは単にJALだけの問題ではないだからである。JALを監督する国土交通省、そしてどこの企業も同じことをしているから



である。今また、電機産業で簡単に1万人リストラとか報道されているが、経営者の責任はどうなるのか。皆一生懸命働いていた労働者である。先ほども通行人の方が、『僕は20年間働いてきたけれど、たった200万円で仕事を失った。だからあなたたち、そんな大きなお金を求めて運動するのはやめたほうがいいのとちがう?』と言って立ち去られたが、はたしてそうなのであろうか。今、働く者が本当にぞんざいに扱われている。非正規で働く人々は4割を超えており、ここ30年間、賃金は上がってない。しかしゼロだった消費税は今や10%になっている。すべての物が値上がりしている。お米さえ1年前より2倍になってしまった。これは一体誰の責任なのか。お米を作りたい農家の方がいてお米を食べたい国民がいる。それをつなぐのが政治の役目ではないか。



減反政策でお米の生産量が少なくなり、今度はアメリカから輸入したらどうか、そんなことを言っている。スーパーに行っても遠い国から来た野菜が並んでいる。メキシコとかチリとか、なぜ日本で作れる野菜を輸入しなければならないのか。私たちは安心な食べ物を食べたい、おいしいお米を食べたい、それは普通の願いではないか、その願いを叶えていないのが自民党がやってきたここ数十年の政治ではないか。おいしいお米は一体どこへいったのか。皆で怒ってもいいと思う。ニュース番組では政治家の責任は問わずにどうしたらこの物価高を乗り切れるか、そんな話ばかりである。けれども日本人ほど真面目に働く国民はないと言われている。治安もいいと言われている。そんな国民がもっと皆で声を上げれば政治は変えられるはずである。7月20日に参議院選挙があるが、各党選挙対策ばかりである。私たちは国民の願いをかなえてくれる政権を望んでいる。誰がやっても同じだ、そんな声も聞こえているが、そんなことはない。今の政治がダメなら次の人にやってもらう、そして私たちも参画していく、皆で政治を変えていこうではないか。まともに食べられない、子どもにお米を、おにぎりをしっかり食べさせてあげられない。子ども食堂は良いことだなんて、そんな無責任なことを一国の首相が言っていていいのか。そして小泉進次郎さんが農水大臣になったら、お米が私たちのところに適正に届くのだろうか。そうは言えない。の方のお父さんは郵政を民営化して日本をムチャクチャにした人である。その2世が政治家になる。私はまったく信用でなきない。ぜひ皆さん、我慢するのをやめて、泣き寝入りはやめて、行動に出ようではないか。京都にもがんばっている労働組合がたくさんある。組合つぶしにも負けずにがんばっている。そんな皆さんにここ大手筋に集まって運動をしてくださっている。ぜひ皆さん、仲間がお配りしているチラシをご覧になって、私たちの運動を応援していただきたい。」と訴えました。



次回 宣伝行動

(呼びかけ JAL闘争を支える京都の会)

6月17日(火)

午後2時~3時 伏見・大手筋商店街